

# THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

世界へのプレゼントになろう  
Be a Gift to the World



「どう生きるか」諸事を見直して  
実践しよう

国際ロータリー会長 K. R. ラビンドラン 2015～2016 富津中央RC会長 千葉 一利  
国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12  
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2414 第17回例会 2015. 10. 29 晴

静岡県三島市米山梅吉記念館見学バスの旅例会

さゞ波館前8:00発

## 出発挨拶

千葉一利 会長

皆さん お早うございます。今日はお陰様でお天気に恵まれました。今日の計画は親睦委員が立てたもので、その中心は原田さん、他に渡辺哲親睦委員が準備されました。案内よろしく願いいたします。

女性4名の方が参加され花を添えてくれ有難うございます、みなさん大事にしてやってください。

運転手さん 安全運転よろしく願いします。

## 旅行概略

刈込八束会員の見送りを受けながらバスは定刻8時にさゞ波館を出発。原田親睦委員から行程についての案内や同渡辺哲夫委員よりご奉仕の披露、用意した銘酒の案内等あり、白石幸久会員持参の八街産大粒南京豆をつまめば一同止むことを知らず、海ほたるに9時前についたというのに、かなりの盛り上がり(後部サロン席)。

海老名サービスエリア事故の関係か混雑状態をようやく抜けて、最初の目的地といっても珍しい企画で、いきなり飲み放題という御殿場地ビールでの昼食、ここではフィリピーノと思わしきラテントリオの

流しが演奏、ビールの種類も多く、中々よろしい。

このあとは当初の三保の松原行きが時間の制約で取りやめになり米山記念館に直行、この詳細については須藤米山委員長の報告に委ねます。

三保の松原の代わりに行った三島神社ではありましたが、大社というだけあって立派な佇まいが始まりかけた紅葉の中にあり、一同恭しく参内。

帰り道は順調で予定通り18時過ぎに帰還。天気と仲間とお酒に恵まれた楽しい小旅行、親睦さん有難う。

(石渡鋼会報委員記)



米山梅吉記念館を訪ねて

須藤 隆 米山担当部長

米山梅吉記念館を巡る日帰り旅行が、米山月間に合わせて計画され、総勢16名の参加のもとに実施されました。マイクロバスをチャーターし、親睦

〒293-0042 富津市小久保2868  
さゞ波館 Sazanami-kan  
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,  
Zip code 293-0042  
Tel.0439-65-3373 Fax.0439-65-3304  
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



委員の計画したスケジュールに沿って8時にさゞ波館を出発、同時に飲物、食べ物が配られ、朝からグラスを片手に和気あいあいのバスの旅となりました。

御殿場高原ビールにて昼食を摂り、そこでのビールのおいしかったこと、久しぶりにドイツ本場のビールを味わった気がしました。それもそのはず、そこでのビールは「ドイツ伝統のビール製法に則り富士山の湧水と麦芽、ホップ、酵母だけで造られた正統派の地ビール」だとのこと。

昼食後に米山梅吉記念館に向かい、記念館では、最初に館内全体の説明と米山梅吉の概要が話されました。その後2階フロアで米山梅吉をしのぶ展示品を観ながら説明員が米山の生い立ちから三井銀行での活躍、銀行をリタイアしてからロータリーに関わったこと等、米山梅吉の足跡を聞きやすい丁寧な語り調で説明をしてくださいました。説明の終わりに説明員と参加者全員が輪になり手をつないで、説明員が全員に右手を挙げてくださいと号令をかけると、各人は左手を下げたまま右手を挙げるしぐさをしますが隣の人は右手を挙げるので、隣の右手と繋がっている左手をどうしてよいものか迷っておりました。そのとき「他人を思う気持ちを大切にすろロータリーの理念を象徴する場面です。」と説明員が話されたのが印象的でした。その後、多くの参加者が受付に置かれているスマイルボックスに献金し、全員で米山記念館の前で記念撮影をして記念館を後にしました。

出発前のスケジュールでは世界遺産に指定された美保の松原に立ち寄る予定でしたが、生憎の天候で富士山の見えない美保の松原に行くのはどうかとの意見があり、急遽変更して米山記念館に近い三島大社を訪問することになりました。なお、米山梅吉の奥様は三島大社の宮司の娘とのことで初めて米山と三島大社とのかかわりを知りました。

今回の日帰り旅行では親睦委員の原田さん、渡辺さんそれと女性の藤江さん栗原さんには大変お世話になりました。また美味しい地ビールを紹介してくれた石渡さんにもこの紙面を借りて感謝申し上げます。

## 三島大社の由来



創建の時期は不明とされているが、奈良・平安時代の古書にも記録が残っていることから千有余年の歴史を有すると推測される。

三島神は東海随一の神格と考えられ、平安中期には「名神大」に列格された。中世以降、武士に崇敬され、特に源頼朝が源氏再興を祈願し、頼朝旗揚げ成功以来、武門武将の崇敬篤く、東海道を面し伊豆地方の玄関口として「三島大明神」は天下に広まった。

その後明治4年の近代社格制度で「官幣大社」に列せられた。また、平成12年には本殿が重要文化財に指定された。

## トピックス

—山下厚会員に依る新刊書の発刊について—

この旅行の車中にて彼が持ってきた大きな袋、何か皆に振舞う馳走かと思いきや、振舞われたのが自身の著書「ウシのきもち、ヒトのきもち」という単行本だったので少しびっくり。

まだ全部は読んではないが、獣医師という職業から観た動物のこと、人間のことが面白く書かれている。斗酒をも辞さなそうなバイタリティを随所に込めた文体は読む人を引き付けずにはおかない。

発行元：一般社団法人全国酪農協会

定価 本体 926 円

ご興味の方はご本人まで。